

Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第 20 巻第 1 号 (通巻 57 号)

2016 年 5 月 18 日

『音韻研究』第 19 号発行

『音韻研究』第 19 号が発行されました。昨年度の会費を今年の 3 月末日までに納付された方には、この Newsletter とともに 1 部お送りしています。ご確認ください。

2015 年度春期研究発表会と音韻論フォーラム 2015 における講演・研究発表の中から、査読を経た研究論 13 篇、招待講演論文(学位取得者講演論文を含む)5 篇、合計 18 篇が収められています。

2016 年度春期研究発表会

2016 年度春期研究発表会(通算第 23 回大会)が、6 月 24 日(金)に、首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパスで開催されます(なお 6 月 25 日~26 日には日本言語学会の大会が慶應義塾大学(東京都港区)で行われます)。

今年度は、学会設立 20 周年記念企画が予定されているため、午前中からの開催となります。

プログラムは以下の通りです。奮ってご参加下さい。発表会終了後、会員総会が行われますので、ご出席下さい。その後、懇親会が予定されています(会費、会場については、当日お知らせします)。

記

日時: 2016 年 6 月 24 日(金) 10:00 - 18:10

会場: 首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス 秋葉原ダイビル 12 階 1202 号室(東京都千代田区外神田 1-18-13・JR 秋葉原駅「電気街口」徒歩 1 分) 地図は以下のサイトを参照

http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html

参加費: 一般・維持会員: 無料, 非会員: 2,000 円, 非会員学生: 500 円

問合せ: 六川雅彦(南山大学) 担当理事

phsj.spring@gmail.com または、学会事務局

プログラム

10:00 - 10:15 受付

10:15 - 10:20 開会挨拶

セッション 1 一般発表

司会: 太田聡(山口大学)

10:20 - 11:00 金アリン(九州大学)

「韓国語における 4 音節と 5 音節の音韻的・形態的境界」

11:00 - 11:40 李墨形(大阪大学)

「最適性理論から見た日本語漢語の優勢なアクセント型の産出」

(休憩 80 分)

セッション 2 一般発表

司会: 佐野真一郎(慶應義塾大学)

13:00 - 13:40 小川晋史(熊本県立大学)

「品川庄司はなぜ庄司品川でないのか?」

(休憩 5 分)

セッション 3 学位取得者講演

司会: 田中真一(神戸大学)

13:45 - 14:45 村田真実(大阪大学)

「統計手法を用いた諸方言アクセント分類の実証的研究—京阪式アクセントと讃岐式アクセントを中心に—」(徳島大学 2014)

(休憩 10 分)

14:55 - 17:25 日本音韻論学会 20 周年記念企画

14:55 - 15:00 日本音韻論学会 ロゴマーク

公開・表彰

15:00 - 17:25 シンポジウム「音韻研究の昔と今」

司会: 田中伸一(東京大学)

講師: 元会長 窪菌晴夫(国立国語研究所)

前会長 上田功(大阪大学)

現会長 田端敏幸(千葉大学)

(休憩 5 分)

17:30 - 17:55 総会

17:55 - 18:00 閉会挨拶

18:20 - 20:20 懇親会

音韻論フォーラム 2016

音韻論フォーラム 2016 が以下の予定で開催されます。韓国を含む海外からの招待講演ならびに学位取得者講演と一般研究発表で構成されています。

期日: 2016 年 8 月 24 日(水)~26 日(金)

会場: 金沢大学サテライトプラザ

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/
(香林坊から徒歩圏内)

プログラム等詳細は、次号でお知らせします。

金沢では新幹線の開業以来、宿泊の確保が難しい状況が続いているとのこと。早めの手配をおすすめいたします。

フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム 2016 の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。プログラム等の情報は 7 月下旬発行予定の Newsletter にてお送りいたします。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会の査読を経て『音韻研究』第20号(2017年3月刊行)に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表1件につき、原則として8ページです。

<応募要領>

発表(論文)テーマ:音韻論・音声学に関するもの、
あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語:日本語または英語。

発表形態:一般発表またはワークショップ

送付方法:いずれの発表形態の場合も、①要旨、②
発表者情報を別のシートに記載し、下記の担当理事宛に送信して下さい。

I. 一般発表の場合

①「要旨」には、タイトルと発表要旨のみを記入する(氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合2000字以内、英語の場合800語以内とする。別紙に、参照文献一覧を1枚以内で示す。

②「発表者情報」には、氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。

II. ワークショップの場合

①「要旨」は、ワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し代表者が取りまとめ、一括して送信する。各要旨には、タイトルと発表要旨のみ記入する(氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は2000字以内、英語の場合は800語以内とする。要旨各々につき、参照文献一覧を1枚以内で示す。

②「発表者情報」には、発表者全員の氏名、所属、タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。代表者に印をつける。

メールでPDFファイルを送信(PDFファイルの作成が不可能な場合は、Wordファイルにて送信)。PDFファイルで投稿できない場合は、事前に担当理事にご連絡下さい。

書式:A4サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り:2016年6月30日(木)

送付先:phonforum@gmail.com

フォーラム2016担当理事:佐野 真一郎

(慶應義塾大学)

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので、ご注意下さい。7月中旬に、発表の可否を通知予定です。

日本音韻論学会発足20周年記念企画 学会ロゴ製作(会員による投票)

学会発足20周年を記念して、学会のロゴを製作することとなったのは、すでにご案内の通りです。多数の応募の中から、理事による選考の結果、候補として5作品を皆さんにご紹介いたします。

会員のみなさまには、下のURLにアクセスしていただき、5作品から1作品を選びいただきたく、お願いいたします。(下のQRコードからもアクセスできます。)

<https://goo.gl/5ka5C2>



学会ロゴ投票用のハガキを同封いたしましたので、お気に入りのロゴの番号に丸印をつけていただき、締切(2016年5月30日)までに投函していただくようお願いいたします。(海外会員の方は、事務局までメールでの投票をお願いします。)結果は、6月24日に行われる学会総会にて発表いたします。

旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、非有職者(学生や非常勤講師等)で、かつ、遠隔地からの発表者を対象に、旅費の補助を行います。春期研究発表会、音韻論フォーラムいずれの時期も対象で、一人上限国内2万円、海外5万円です。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は発表応募時にお知らせ下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会前身の音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』についても、特別価格で購入できます。詳しくは、下記にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 水上ビル4F

TEL: 03-5842-8900 FAX: 03-5842-5560

E-mail: kawata@kaitakusha.co.jp

熊本地震で被災された皆様へ

この度の熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い地震の収束、日常の回復を心からお祈り致します。

日本音韻論学会では被災された会員の皆様の会費免除などを検討しております。方針が決まりましたらホームページやNewsletterなどでお知らせ致します。

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち5, 6は、それぞれ 2015, 2016 の各年度の会費が未納であることを意味します。*は、会費納入済みであること、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、t は thousand の意味で、[5t]とあれば、5,000 円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*6[5t]」と印字されていれば、2016 年度の会費が未納で、その総額が 5,000 円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しています。

封筒をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振り込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込：

口座番号：00180-6-402077

加入者名：日本音韻論学会

年会費：

維持会員：10,000 円

一般会員：5,000 円

学生会員：4,000 円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

また、会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい(学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も、必ずご連絡下さい)。連絡されないままにされます

と、Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんので、ご注意願います。

日本音韻論学会事務局

【事務局長(学会所在地)】本間 猛(首都大学東京)

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

首都大学東京 人文科学研究科(言語科学)

TEL：042-677-1111(代表)

E-mail：honmat@st.rim.or.jp

【事務局補佐・書記】竹安 大(福岡大学)

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目 19-1

福岡大学 人文学部

TEL：092-871-6631(代表)

E-mail：takeyasu@fukuoka-u.ac.jp

【会計】西村 康平(いわき明星大学)

〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野 5-5-1

いわき明星大学 教養学部地域教養学科

TEL：0426-29-5111(代表)

E-mail：kohei.nishimura@iwakimu.ac.jp

2016 年度春期研究発表会会場

首都大学東京 秋葉原キャンパス

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13

秋葉原ダイビル 12 階 Tel 03-5294-0250

